

高校生と県議 意見交換

学校設備・環境テーマに

生徒は、9月に塩尻市の県総合教育センターで開かれた「生徒の主体性を育む夏合宿」で話し合った結果などを提言としてまとめて発表した。その後、県議も加わった7グループに分かれて議論した。

学校の設備や環境について生徒からは、タブレット端末の導入促進を求める声が出た一方、端末導入で新たな問題が起きないか懸念する声も聞かれた。

全県から高校生を募って開くのは、昨年8月に続いて2回目となった。生徒は、県議会11月定例会の一般質問も傍聴した。松本深志

県議会と県高校長会は4日、高校生と県議会議員が意見交換する「こんにちは県議会です」を県庁で開いた。蘇南、梓川、松本深志、松本蟻ヶ崎、都市大塩尻、松商学園など県内18校の生徒59人が、学校の設備や環境、食糧問題、学校への提言といったテーマで県議と議論した。
(赤羽啓司)



意見を交わす高校生と県議